

## (社) 奈良県臨床検査技師会 第 11 回通常理事会議事録

開催日時：平成 24 年 3 月 8 日（木）18:10～20:00

開催場所：奈良県リハビリセンター 2 階討議室

出席者：山本、今田、林田、藤本、畑中、田中、倉本、内池、上杉、内間、  
北川、横山、久保、猪田理事

欠席者：宗川、梅木、後藤、山下、延命、枡尾理事

### I 議事録の確認

1. 「平成 23 年度第 10 回通常理事会議事録」の確認  
標記議事録を確認、一部誤字脱字を修正し承認した。

### II 理事行動報告（平成 24 年 2 月 9 日から平成 24 年 3 月 7 日）

1. 平成 23 年度第 10 回通常理事会：2 月 9 日（木）／県リハビリセンター 討議室 山本、今田、後藤、山下、内池、延命、上杉、内間、北川、枡尾、横山、久保、猪田
2. がん撲滅啓発事業・ミニ検査展：2 月 18 日（土）／イオンモール橿原アール 藤本、田中、山下
3. 奈臨技公開講演会：2 月 19 日（日）／県新公会堂 能楽ホール 山本、宗川、今田、延命、梅木、枡尾、藤本、久保、横山、林田、北川、畑中、後藤、倉本、山下、内間、田中、猪田、上杉
4. 近臨技理事会：2 月 26 日（日）／大臨技事務所 宗川、林田
5. 第 2 回関西支部幹事会：2 月 26 日（日）／大臨技事務所 宗川
6. 第 22 回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会：3 月 3～4 日（土、日）  
／県文化会館 小ホール 山本

以上の行動報告を、承認した。

### III 役員等派遣報告

1. 近臨技理事会：2 月 26 日（日）／大臨技事務所 宗川（代理出席）、林田
2. 第 2 回関西支部幹事会：2 月 26 日（日）／大臨技事務所 宗川
3. 第 22 回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会：3 月 3～4 日（土、日）  
／県文化会館 小ホール 山本

以上の役員等派遣報告を、承認した。

### IV 会議、委員会等開催報告

1. 特になし

以上の会議、委員会等開催報告を、承認した。

## V 経過報告

### 宗川副会長

#### 1. 日臨技関西支部幹事会について

全国研修会（2つ）及び支部研修会（2つ）の報告

- ・ 関西支部での研修会は移植検査部門（輸血）大阪開催と感染制御部門（微生物・ウイルス）京都開催である。予算は支部研修会は 20 万円である。又各研修会は 5 万円/回、20 研修会すなわち 100 万円申請できる。支部学術奨励金として全国で 500 万円計上された。
- ・ 支部学会規程が作成され支部学会は 10 月、11 月の土、日で開催し参加費は 5000 円とする。
- ・ 来期理事幹事の選出があり幹事 7 名：清水隆之氏（大阪）、中町祐司氏（兵庫）、白波瀬浩幸氏（京都）、山本慶和氏（奈良）、玉置達紀氏（和歌山）、竹島通氏（滋賀）、伊藤善祐氏（福井）、理事：運天政五郎氏（大阪）、中町祐司氏（兵庫）、小澤優氏（京都）が選出され支部長に中町祐司氏（兵庫）、副支部長に白波瀬浩幸氏（京都）が選出され 4/14 の資格審査後 5/26 以降新体制で活動する。
- ・ 支部会議は 1 回/年、日臨技理事との会議 1 回/年の予定である。また 2 月の臨時総会で学術協力員を各都道府県にそれぞれ 1 名を選出することとなった。

### 事務局総務部

#### 1. 日臨技会長選挙 候補者の推薦について

奈臨技会員に対し、長野県技師会 宮島喜文氏の応援依頼を奈臨技ニュース、チラシを作製し配布した。また、IT 委員会と協議して、ホームページ、メーリングリストでの応援を強化した。なお、ホームページ掲載の宮島喜文氏の応援文書については、3 月 1 日に削除した。

#### 2. 日臨技第 2 回総会について

3 月 24 日開催される標記総会に事務局林田の出席を会員に通知し、委任のお願いと委任状提出おける注意点、総会議案書の掲載場所の案内をチラシとして配布した。

#### 3. 近臨技理事会について

- 1) 日臨技会長選の対策について、近臨技では宮島氏を推薦することの確認を行った。また、日臨技の将来展望についての意見交換として、会長の行動費用の拡充を承認した。
- 2) 近臨技の統一ロゴを承認した。各技師会の会員証に使用することとした。奈臨技でも対応を検討する。
- 3) 関西支部学会について、学会ホームページを開設した。なお、告示等

のチラシの配布依頼が各府県から有り、ポスター・チラシの手配を行うこととした。また、支部化により学術部門の委員の関与が希薄となったことから近畿全体での盛り上げに欠ける点、学会事務局が意識して近臨技に依頼する方針を確認した。

#### 4. 財団法人健康づくり財団について

標記財団の理事・評議員会の開催案内があり、山本会長と宗川副会長の出席を回報した。なお、一般財団法人への移行が進められており、次期役員の選出人数は以下のとおりである。

- ・次期理事・評議員：任期 H24. 3. 1～H26. 2. 28  
理事 1 名（評議員と兼任可）、評議員 2 名
- ・法人移行後の最初の役員  
理事 1 名（評議員と兼任不可）、評議員 1 名：

#### 5. 財団法人対ガン協会について

標記財団から共催事業の申し込みについて相談があり、事業計画を会長宛に依頼を要請した。

#### 6. 日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム（TAMTOC）の使用について

標記事項について日臨技より地臨技の臨床検査精度管理調査もこのシステムを使用して実施できるよう、準備が整ったとの案内があった。システムの使用料は無料だが、業者に設定を依頼すると、別途費用が発生するため、奈臨技としては独自で設定し、可能であれば次年度より使用したい。

#### 7. 庶務部会について

- 1) 2月28日 奈臨技ニュース、総会議案書、日臨技会長選挙の案内、日臨技総会委任状の記載方法のお知らせの送付を行なった。

#### 8. 奈臨技 IT 委員会

##### 1) 新規掲載内容

- 2月18日 寄生虫検査実習研修会のお知らせを掲載した。
- 2月20日 公開講演会開催報告と「命を支える臨床検査」を掲載した。
- 2月24日 日臨技会長選挙についての案内を掲載し、メーリングリストにて回報した。なお、会長選のマニフェストの掲載を行い、日臨技にログイン無しでの閲欄を可能とした。
- 3月1日 奈臨技ニュース 2012年3月 214号を掲載した。

#### 9. 会員の移動について

〔正会員数〕 535 名 （平成 24 年 3 月 4 日現在）

会費納入済み 525 名 未入金者 10 名 新入会 19 名

〔新入会〕 1 名

〔退会〕 2 名

事務局経理部

1. 特になし

学術部 検査研究部門担当

1. 特になし

学術部 精度管理担当

1. 精度管理調査事業報告書について

事務局より事業報告書に以下の書類を添付し、奈臨技会員施設および賛助会員施設に発送する。

1. 奈良県臨床衛生検査技師会主催外部精度管理調査結果の評価
2. 奈臨技精度管理総合評価報告書
3. 参加証

学術部 生涯教育担当

1. 特になし

渉外部

1. 平成23年度奈臨技公開講演会の開催報告

2月19日（日）に標記公開講演会を奈良県新公会堂能楽ホールにて開催し、来場者は258名（会員41名を含む）で、講演内容についても大半の方が大変良かったとのアンケート回答があり好評であった。講演に先立ち、検査展を行い測定体験コーナーでは検査を通じ健診の必要性・重要性を啓蒙できたと思われる。今年度は血管年齢測定も整理券制としたことで、大きな混乱は無かったが、ヘモグロビン量測定ではHbA1cと勘違いされる方が多く名称変更が必要と感じた。また、能楽ホールでは、プレ講演と題し併設研修会を開催し一般来場者にも公開した。しかし、公開講演会、研修会ともに会員の参加が少なかったことに関しては、広報の方法等の課題も残った。なお、詳細報告、会計報告は添付資料の通りである。

地域保健事業部

1. 特になし

地域保健事業部公衆衛生関連

2/18 イオンモール橿原アルルでのミニ臨床検査展およびガン撲滅運動

[ミニ臨床検査コーナー] 自己血糖測定コーナーでは、SMBGによる血糖測定した。血圧・血管年齢・骨密度測定コーナーでは、自動血圧計、指尖脈波計による血管年齢、超音波によるかかとの骨密度の測定した。心電図体験コーナーでは、心電図検査を体験して頂いた。

[ガン撲滅運動]

- ・胃がん、大腸がんに関するポスターにて、ガン撲滅および検診受診啓蒙を行った。性感染症、メタボ、各種ガンの予防や臨床検査との関わりについて、リーフレットを配布した。

[総括]

- ・来場者は200名程度であった。会場が3階の奥まった1室（イオンホールA）であり、イベントの案内等ができなかった為、集客に苦慮した。骨密度測定に人気集中したが、はだしになる必要があり、測定を断念された方がいた。来年度、実施するのであれば、イベントに気づいて頂ける通路や通路に面した部屋でやるべきと思われた。

[当日実務委員]

- ・藤本、南日、関本（ファルコバイオ）、高橋、白本（天理よろづ相談所病院）、山下（県立五條病院）、森嶋（県立医科大学附属病院）、吉田、栗岡（県立三室病院）、田中、吉村（大和高田市立病院）、栄研化学2名、フクダ電子2名

組織法規部

1. 平成23年度新入・一般研修会の開催について  
参加予定者：21名の参加申し込みがあった(3月2日現在)
2. 法人制度改革の対応について（中嶋行政書士事務所からの報告）  
一般社団法人への移行申請につき、今期予算の着地予想をもとに申請準備進めてきたが、会計基準の改正や事業内容の整理、進捗状況の確認処理や数字の把握の遅れから未だに申請までに至っていない。  
現在、奈良県総務課にて審査前の書類確認だけで2～3ヶ月要してるので、今申請書を完成させても、また新たに今期（3月31日決算）の実績と来期の予算をもとに作り直す必要がある。  
よって今期決算処理確定後、決算内容と来期事業計画を確認し速やかに申請書類を完成させる予定ある。移行認可の目標は今年秋とする。  
尚、他の申請状況を見ていると、申請書類提出後の書類確認で2～3ヶ月、補正等のあと審査、移行認可で3～6ヶ月ほど要している。

福利厚生部

1. 2/20・ミニ臨床検査展・ガン撲滅運動（2/18 樫原アルル）傷害賠償保険加入者名簿提出
  - ・ H23年度公開講演会（2/19）傷害賠償保険加入者名簿提出
  - ・ 第22回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会（3月3日・4日）傷害賠償保険加入
2. 3/5・第22回近臨技形態検査部門血液検査分野研修会（3月3日・4日）傷害賠償保険加入者名簿提出

広報部

1. 奈臨技ニュース 2012年2月号 第214号を発行した。

地区担当部

1. 弔電 1件
2. 祝電と花束 1件 天理医学技術学校 卒業式

## 学会担当

1. 特になし

以上の経過報告を、承認した。

## VI 会計報告

1. 2月分の収支状況について別紙資料にて報告があり、承認した。

## VII 議題

### 山本会長

1. 奈良県臨床検査協議会（仮称）運営のための委員会設立について  
奈良県臨床検査協議会（仮称）設立に向けて、奈良県臨床検査専門医の岡本康幸先生、太田善夫先生、松尾収二先生の3人の同意を得るところまできている。現在、奈良県医師会会長の塩見俊次先生、次いで奈良県医療政策部の同意を得るための準備を進めている段階である。  
そこで、学術部内に奈良県臨床検査協議会運営委員会を設置する提案があり、承認した。

なお、組織案としては

- 委員長：奈良県臨床衛生検査技師会 会長
- 副委員長：奈良県臨床衛生検査技師会副会長、学術部精度管理部長
- 事務局：奈良県医療政策部内
- 委員：精度管理委員長、奈良県精度管理委員、奈良県標準化委員会代表、精度管理委員数名

### 事務局

1. 日臨技第2回総会について  
日臨技総会の奈良県出席者を事務局林田としたい。なお、会員への委任状の提出方法のお知らせを作成する必要から、メールにて役員から意見を頂き了解を得ているが、理事会で承認を願う提案があり、承認した。
2. 財団法人健康づくり財団理事・評議員について  
標記財団の理事・評議員の推薦依頼があり、暫定として山本会長と宗川副会長の留任を回報した、事後承諾であるが、承認を願う提案があり、承認した。なお、任期はH24.3.1～H26.2.28である。  
また、法人移行後の役員についても推薦依頼があり、次期役員の決定とともに、下記役員の推薦することとした。
  - ・理事1名（評議員と兼任不可）：任期H25.4.1～H25.6月（定時評議員会まで）

・評議員 1 名：任期 H25. 4. 1～H29. 6 月（定時評議員会まで）

3. 平成 24 年度第 1 回総会役員について

標記の総会役員を下記の通り各地区で推薦を依頼する提案があり、承認した。

担当：中部地区

推薦人数

受付：3 名（中部）

議長：2 名（北部・南部各 1 名）

議事運営委員（兼資格審査委員）：各地区 1 名

書記：2 名（北部・南部各 1 名）

議事録署名人：2 名（北部・南部各 1 名）

4. 平成 24・25 年度役員について

役員推薦委員会・選挙管理委員会から別紙資料のとおり新役員の推薦があった。総会議案として承認を願う提案があり、承認した。

5. 平成 24 年度第 1 回総会議案書について

標記総会の議案書について、別紙資料にて提案があり、承認した。

地域保健事業部公衆衛生関連

1. 健康を考えるつどいに交通費を支出について

3 月 10 日（土）桜井市まほろばセンターで行われる「健康を考えるつどい」（桜井市主催）に派遣する会員の交通費等の諸経費を技師会より支出する提案があり、承認した。

Ⅷ 会議、委員会等開催の申請について

1. 特になし

以上の会議、委員会等開催の申請について、承認した。

その他、審議事項なし

平成 24 年 3 月 8 日

社団法人 奈良県臨床衛生検査技師会

議 長 林田 雅彦

議事録署名人 上杉 一義

議事録署名人 枡尾 茂